

第6次総合計画の着実な推進



6月に行われた神戸町長選挙で
藤井弘之町長が再選を果たされました。

これまで以上に全力前進で

多くの皆様から温かいご支援をいただき、引き続き2期目の町政を担うことになりました。お寄せいただいた信頼と期待にお応えし、神戸町第6次総合計画が掲げる将来像「みんなの笑顔 未来へつながろう」とともに支えあうまち「ごうど」を創るべく、強い使命感を持って、これまで以上に全力前進で町政運営に取り組んでいきます。

神戸町が抱える最重要課題は、人口減少です。これは地方のみならず、日本全体の課題でもあります。町では、第6次総合計画と併せて令和7年度よりその解決に向けて、第3期となる地方創生総合戦略をスタートさせました。この戦略に基づき、具体的かつ効果的な事業を積極的に進めていくことで、人口減少の抑制につなげていきます。

未来を担う子どもたちのために

神戸町の将来を担う子どもたちや、子育て世代への支援について、最優先に取り組みます。そのため、入学祝い金の創設、現在の育英資金助成制度の拡充など、さらなる子育て支援の充実を進めます。

昨年7月にオープンした子育ての拠点施設「ごうど児童館」については、町内外から多くの方にご利用いただいております。さらに魅力ある施設としてご利用いただけるように、遊び・交流・相談・イベントなど、より一層の充実を図ってまいります。

また、継続的に進めている学校体育館の空調機器の設置など、学校施設の充実を図るとともに、学校ICTの推進、利活用により教育の質を高め、学びの実効性を向上させることで、確かな学力の育成にも取り組めます。



いつまでも安心して暮らすために

人生100年時代と言われる中、住み慣れた神戸町で、いつまでも安心して暮らせるよう、高齢者世帯、特に独居世帯への生活支援、フレイル予防、認知症施策の推進など、切れ目のない支援を図ってまいります。

また、暮らし、生きがいを共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を目指していきます。その実現に向けて、様々な地域課題を把握し、解決していくため、専門職による相談支援体制の整備を進めるとともに、多職種連携や地域住民等と協働する地域連携による、地域包括ケアシステムを強化していきます。

町民の暮らしと命を守るために

町民の暮らしと命を守るため、防災・減災、防犯対策にも積極的に取り組みます。1期目に着手した「まちかど防犯カメラ」の増設を進めることで更なる安全・安心なまちづくりを進めます。

このほか、国・県等の補助金を活用した生活道路、特に通学路における安全の確保、上下水道施設の適正な維持管理、さらには、町民の大切な足でもある養老鉄道等についても、継続的な支援を行うことで、社会基盤の維持に努め、快適な住環境を守っていきます。

地域経済の発展のために

東海環状自動車道大野神戸IC周辺のアクセス性の向上効果を活かして、雇用の創出と税収の確保のため引き続き、企業誘致に取り組みます。

令和4年の町長就任以降、西座倉地区においては関係者のご尽力もあり、これまでに4事業所の進出が決まりました。今後期待される東海環状自動車道の全線開通を見据え、積極的な企業誘致を進めていきます。

また、産業振興事業として、農業経営者対象の農業資材等の高騰による経費を一部補助する事業や、中小事業者を対象とした販路拡大等の活動に対して支援する事業を継続して実施するなど、既存産業の活性化にも力を注いでいきます。

持続可能なまちづくりのために

老朽化が進む公共施設やインフラなどについては、利用者が安心して使用できるように適切に維持管理、改修、更新していく必要があります。

現在、昭和56年1月に建築された中央公民館の改修工事を実施しています。築40年以上が経過し、経年劣化が著しいため、国の補助金を活用し、大ホールの客席、吊り天井、学習室を改修しています。また、中央公民館に隣接する町民体育館は、昭和54年3月に建築され、こちら

も経年による劣化が著しいことから、先般6月に開催された町議会において「町民体育館特別委員会」を立ち上げていただき、今後の町民体育館のあり方を協議することになりました。

こうした一方で、今後も様々な施策を展開していくためには、将来にわたって持続可能な健全財政をこれまでどおり維持していくことが不可欠です。町税等歳入の安定確保をしっかりと図った上で、ふるさと納税を推進することで財源確保に努めます。また、新しい時代の流れを的確に地域の力として取り入れていくため、行政のDXを推進し、町民の利便性の向上と行政事務の効率化に努めていきます。

「住み続けたい」と思えるまちに

2期目においても引き続き、町民の皆様のニーズに応じた施策を主体的に進めることで、「住み続けたいまち ぐうど」を目指してまいります。町民の皆様から託された思いを深く受け止め、心に寄り添いながら、一つ一つの施策を丁寧に取り組むことが私に課せられた使命と考えています。

神戸町の着実な発展に向けて誠心誠意努めてまいりますので、今後とも皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。